00件あり、いずれも待ち時間がほとんどなく受け入れが進んでいる。

12日から羽咋運動公園駐車場で始めた羽咋市では、これまで雨や雪だったこともあり件数は倍増したが、車は並んでも5台ほど。「雪も溶けて休みなので片付けをした」と言う同市川原町、歯科医師高沢直弘さん(70)は、割れた写真ケースのガラスや棚から落ちたスピーカーなどを持って

の豚汁 心も温まる

き出し 京都の飲食店など

住民らに豚汁を振る舞う京都市内の飲食業者ら＝七尾市御祓町で

た。京野菜をふんだんに使った豚汁などが振る舞われ、おいしそうにする住民らの表情に笑顔が浮かんだ。

京都市の唐揚げ店「キックオフ」や建築業「三洋道路」などが協力して食材を持ち寄り、駆け付けた。パトリア入り口付近にテーブルやイスを置き、豚汁のほか、ニンニクをたっぷり使った鶏肉のス

地震発生から2週間ぶりに洗髪してもらう被災者＝穴水町さわやか交流館プルートで

シャンプー、散髪で被災者すっきり笑顔

穴水で美容師らボランティア

訪問型の理美容サービスを全国で展開する「日本介護システム」の「ＫａｍｉＢｉｔｏ」スタッフ4人が14日、穴水町さわやか交流館プルートで、被災者の髪のシャンプーや散髪を施した。発災から2週間ぶりに髪を整えた被災者たちは、笑顔と共にすっきりとした表情を浮かべた。

町内にある「石川能登穴水店」の美容師村山弘二さん(46)が、大阪市の関西本社にも呼びかけて企画。移動式シャンプー台を大阪から用意し、コンロで温めた湯を使いながら作業にあたった。

この日は洗髪や散髪含め約50人の被災者が次々と訪れ、サービスを受けた。「夜中になるとずっとかゆかったんです。本当に気持ちいい。ありがとう」。1日の震災から1度も髪を洗えておらず、仮設のシャワールームなども湯冷めやそこまでの移動が心配だったという東恵子さん(82)は満面の笑みを見せた。

村山さんは「私自身も2週間ぶりにはさみを触った。やっぱり喜んでもらえるのはうれしいですね。地元に笑顔が届けられました」と話した。（柴田一樹）

▨赤色灯

地盤に陥没や亀裂が確認さ

（柴田一樹）

一促進住宅への緊急入居を進

市職員＝七尾市役所で

が始まらんく
のがさみし

イラスト・なとみみわ　⑤

きます。

被災の美容師
出張カット

穴水町さわやか交流館プルートで14日、同町中居の美容院「Monaka（モナカ）」を営む村山弘二さん㊻が出張カットを始めた＝写真。久しぶりの散髪や顔そりに避難所の住民からは「身も心もさっぱりした」と笑みがこぼれた。

村山さん自身も自宅が半壊し、避難所で過ごしている。訪問理美容サービスを手掛ける「髪人（かみびと）」の仲間3人が応援に駆け付け、移動式シャンプー台で住民の髪を洗った後、髪の毛を手際よくカットした。

約1カ月ぶりの散髪という宮坂昭二さん(74)は「プロに洗ってもらうんは全然違う。最高に気持ちいい」と笑顔を見せた。

電気主任技術者
高年の方も活躍中！

●お問い合わせ、お申し込みは
北國新聞社広告部